

創業200周年記念祝賀会を開催 ～安藤パラケミー～

安藤パラケミーは、今年創業200周年を迎えた。これに際し、同社は10月10日に東京會舘(東京都千代田区)にて、創業200周年記念祝賀会を開催した。

同祝賀会には、取引先や関係者など300名余りの来賓客が詰め掛け、1825年の創業からの歴史の軌跡をたどった映像



200周年記念祝賀会で行了た鏡開きの様子

(左から)安藤パラケミー 取締役 中村収二郎氏 日本精蠟 代表取締役社長 瀧本丈平氏

安藤パラケミー 代表取締役 佐久間導人氏 文部科学副大臣 衆議院議員 野中厚氏

ExxonMobil Product Solutions Company / Global Sales Manager / Michael Fanset氏

エクソンモービル・ジャパン 溶剤営業部長 新門基己氏

なども公開され、盛大に執り行われた。

創業当時、同社は蠟(ろう)・油・砂糖などを取り扱う商いを手掛け、その後時代の変遷を潜り抜け、1900年代からは、石油化学製品などを手掛ける化学品専門商社としての歩みを始めている。

『カガクの力でモノづくりを足元から支える』という使命のもと、現在では、埼玉県行田市に、製造・物流にも対応する行田事業所を本格稼働させており、化学品専門商社としての枠組みを超えた「化学品創造企業」を自負する企業へと成長している。

また現在、行田事業所に加え、三重県の津市にも新たな製造・物流拠点の建設を進めており、26年の竣工、稼働開始を予定している。実現すれば、国内で東西に2カ所の製造・物流拠点を保有することになる。同社の佐久間社長はこのような一連の取り組みについて、「創業200周年を迎えた今、経営理念である『感謝と誇り』を礎に、さらなる高みを目指してまいります」とのコメントを表明している。

<https://www.anp.co.jp/>

取材協力:安藤パラケミー